

技術課題：メタン発酵設備へ食品残渣等を投入する際の異物混入による設備不具合

募集内容：食品残渣中に含まれる異物を検知して、自動で分別する事ができる装置・システム

## 1. パートナー募集の背景

- 脱炭素を意識するお客さまから、食品残渣からのメタン発酵の導入に対する問い合わせが増えてきている
- 同時に、メタン発酵設備へ食品残渣等を投入する際に、ポリ袋や大きな骨などの異物が混入し、設備の稼働がストップするなどのトラブルが散見される状況

## 2. 募集要件・求めるソリューション

- 食品残渣中に含まれるメタン発酵設備への投入不可物を検知して、自動で分別する事ができる装置・システム
- 大阪ガスのメタン発酵設備『D-Bioメタン』のディスポーザへ食品残渣を投入する際の前処理設備として組み込むことを想定
- 極力安価なシステム構築を目指しており、実証出来次第、Daigasエナジーとして新商材に採用予定

## 3. 実現イメージ

- D-Bioメタンのディスポーザに投入する食品残渣中にプラスチックや大きな骨などの異物が混入すると、機器故障の原因となる
- ディスポーザで破砕する前にセンサーなどで検知して取り除くことができれば、ユーザーの分別負荷軽減を図ることができる
- 極力安価なシステム構築を目指す

